

こまきじょうぞういしぐら
小牧醸造石蔵

- 【種 別】登録有形文化財（建造物）
【所 在 地】薩摩郡さつま町
【建 築 年 代】大正7年頃/平成9年改修
【構 造】石造平屋建，セメント瓦葺
【建 築 規 模】面積 125 m²
【登 録 基 準】国土の歴史的景観に寄与しているもの
-

川内川と穴川の合流地に位置する焼酎の造酒屋の石蔵。大正の火災後の再建と伝え、溶結凝灰岩の組積造とし耐火性を高める。小屋は木造キングポスト・トラスを組み、切妻造の屋根を架ける。当地域の近代期に特有の石蔵で、川内川河畔の歴史的な景観を伝える。



（写真提供：さつま町教育委員会）

こまきじょうぞうれんがづくりえんとつ
小牧醸造煉瓦造煙突

【種 別】登録有形文化財（建造物）

【所 在 地】薩摩郡さつま町

【建築年代】大正7年頃/平成5年移築

【構 造】煉瓦造

【建築規模】基部一辺 1.15mの方形 高さ 8.76m

【登録基準】国土の歴史的景観に寄与しているもの

醸造用のボイラーにかつて併設していた煉瓦造の煙突。石蔵の南西に建つ。基部は一辺 1.15 メートルの方形で高さ 8.76 メートル。イギリス積で上部を窄め、頂部に蛇腹を廻らし装飾とする。造酒屋のランドマークとして親しまれる、貴重な煉瓦造の煙突。



（写真提供：さつま町教育委員会）